

## 環境科学セミナー(成果報告会) アンケート結果

【開催情報】 令和 4年12月23日(金) 13:30~15:50, 八戸グランドホテル

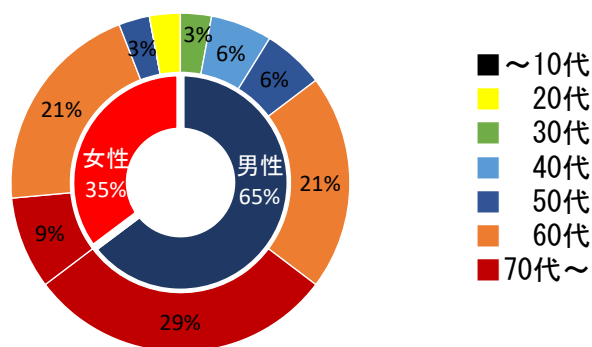
基調講演：金田武司「歴史から考えるエネルギー問題 ～エネルギー危機と日本の現状～」  
成果報告

- 1：田内広「トリチウムってなに？～トリチウム生体影響研究のこれまでと課題～」
- 2：小藤久毅「海洋環境におけるトリチウム」
- 3：パネルディスカッション

1. 参加者： 44人(アンケート回答者：37人、回答率：84%)

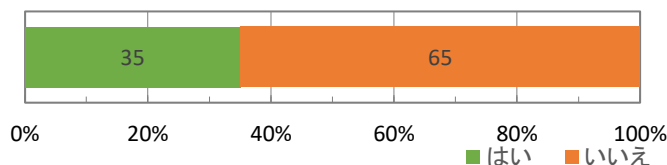
内訳:人	男性	女性
～10代	0	0
20代	0	1
30代	1	0
40代	2	0
50代	2	1
60代	7	7
70代～	10	3
合計	22	12

(性別無記載:3人、年齢無記載:1人)



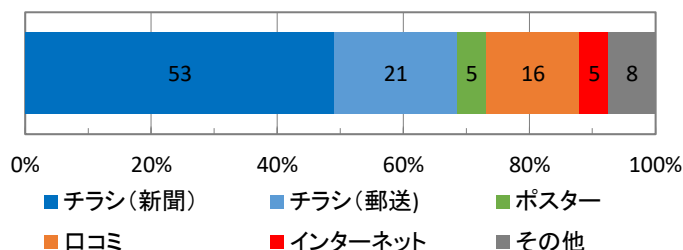
2. 来歴

はい	13
いいえ	24
無記載	0



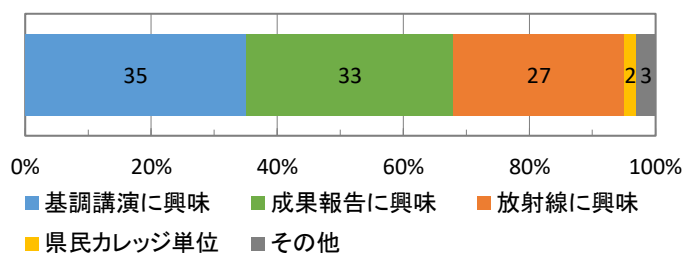
3. 周知方法(複数回答可)

チラシ(新聞)	20
チラシ(郵送)	8
ポスター	2
口コミ	6
インターネット	2
その他	3
無記載	0



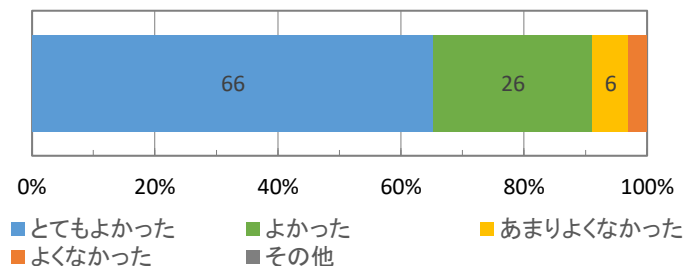
4. 参加動機(複数回答可)

基調講演に興味	23
成果報告に興味	22
放射線に興味	18
県民カレッジ単位	1
その他	2
無記載	0



## 5. 評価（基調講演）

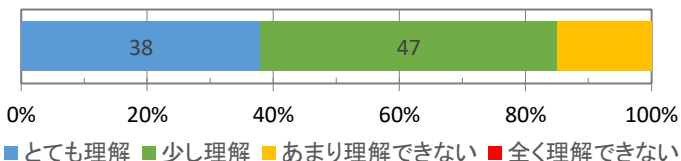
とてもよかった	23
よかった	9
あまりよくなかった	2
よくなかった	1
その他	0
無記載	2



## 6. 評価（成果報告）

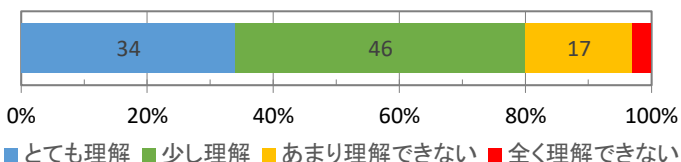
プログラム1: 田内広「トリチウムってなに？～トリチウム生体影響研究のこれまでと課題～」

とても理解	13
少し理解	16
あまり理解できない	5
全く理解できない	1
無記載	2



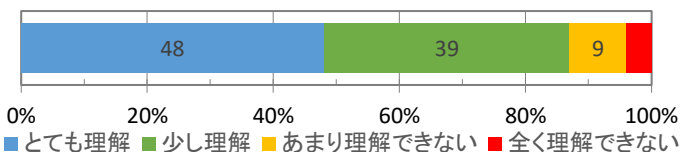
プログラム2: 小藤久毅「海洋環境におけるトリチウム」

とても理解	12
少し理解	16
あまり理解できない	6
全く理解できない	1
無記載	2



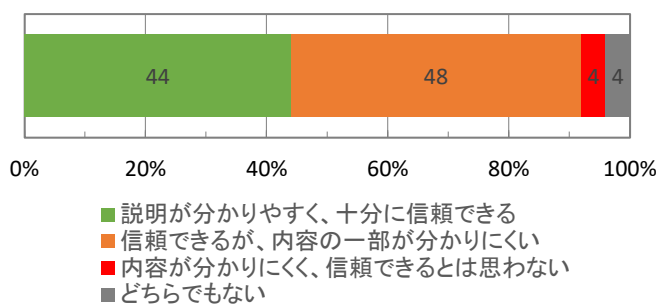
プログラム3: パネルディスカッション

とても理解	11
少し理解	9
あまり理解できない	2
全く理解できない	1
無記載	14



## 7. 機関、その発信に対する信頼性

説明が分かりやすく、十分に信頼できる	11
信頼できるが、内容の一部が分かりにくい	12
内容が分かりにくく、信頼できるとは思わない	1
どちらでもない	1
無記載	12



## 8. 上記設問の自由記載

### 基調講演

- ・ 昨今の国際情勢、日本の政策検討状況等に関連したテーマで住民の方の関心が高く感じた。農業・肥料を使わない農業に取り組んでいる人もいます他一般の人達に聴いてほしいです。又伺いたいと思いました。本当にありがとうございました。
- ・ H、2H、3Hの記述について大変参考になりました。ニクソンショックのドル金の交換停止とっていた。産油国に石油代のドル受け取りをさせたことは知らなかった。勉強になりました。
- ・ 素晴らしい内容でした。またお聞きしたいと思います。ブレトンウッズ体制をやめた時点のドルと今のルーブルの比較について勉強になった。初めて聞いた。
- ・ 司会の方の対応が悪い。下手すぎる。どういう経歴の方が職員となっているのか気になります。人材不足ですか。2人しか質問者がいないのに質問をさえぎるのは失礼なのでは。最初から質問は1人1つと言えればいいのに、さえぎるのは県民を馬鹿にしているのですか。
- ・ 何故原子力発電なのかの理由は、今までの知識と同じであった。
- ・ ごく近年のことなのにテキサスでの低温のこと、シアトルの高温のことなど知りませんでした。日本国内のことしか目を向けていないことに気づかされました。
- ・ 地球レベルでの循環が今考えなければならぬものであることの認知、認識の向上に役立つ講演だと思います。美しい日本を目指すと言った方はもうこの世に居ないのが残念ですが国民は強く望んでいるのです。
- ・ エネルギー戦争という言葉が大変興味があった。地球の生きのびる為の長期的なエネルギーを考える事の大切さを実感した。地球温暖化も含め環境問題、エネルギーには様々なデマ・考え方があることがわかった。
- ・ これまでの話を受けて次への未来への提言が全くなされていないことが残念である。質問をもっと受け付けて欲しかった。

### 成果報告

- ・ 時節柄、トリチウムの基礎知識の理解醸成に重点を置かれており、県民の関心が高く感じた。また、PPRとALPSについても丁寧に説明されていたことが良好であった。
- ・ 青森県にあり研究所の成果の良くわかる方にもお話が聞きたかった。トリチウムの生体に対する影響についてどう判断するつもりなのでしょうか？再処理施設から排出される量は国が決めたものですが、それは果たして安全なのか？それを判断するのが、この研究所の目的ではないですか？国が決めることがすべて正しいとは限らないし、国民が納得するとは限らない!!
- ・ 内容が充実していると感じた。
- ・ 司会者の言葉が聞き取れないので女性にしてほしい。ヒトについての影響は研究中とのこと。研究を進めて絶対安全になるよう対策を含めてお願いします。ただ「安全だ」とかでなく、正直な話を聞いてよかった。研究結果を基に海外にもアピールしてほしい。研究結果、対策のアップデートも必要だと思う。
- ・ 発表自体はつまらないものでした。そもそも環境科学技術研究所主催のセミナーなら環境科学技術研究所内でおこなわれている研究だけを発表して下さい。”
- ・ 子供達にも分かりやすいセミナーがあればいいのにとおもいます。
- ・ 放射性物質の1つのお話しであったが、影響放射性物質のお話も聞きたかった。”よく聞くトリチウムですが、これからも生活の中でつき合わなければならないものだと思うのでわかってきてうれしい。”
- ・ 原子力についてトリチウムは人間界影響等の解明が不十分と良く分かりました。エネルギー不足を保障するには本当に大丈夫なのか？今後の研究結果を注視していきたいと強く思いました。”
- ・ 福島処理水と再処理の比較が分かった。
- ・ 海洋放出についてのトリチウムの安全性というのは何となく理解できましたが、その安全性という事を世界の事例から示し、安心してもらえるPRの必要性を感じた。
- ・ トリチウムが人体に害をなすものなのか？どうか。
- ・ パネル展示はおもしろいと思う。見る時間が多くあれば良い。

## 9. セミナーに関する意見・要望

- ・内容は非常に素晴らしいものであった。両機関とももう少し地元との交流事業について紹介があってもよいと感じた。
  - ・大変勉強になりました。有難うございました。
  - ・司会の方が質問を途中でさえぎることが気になった。時間に制限があるが、一般の方も大事な時間をさいて来ているので気を使ってほしい。回数を増やして各地で実施していただきたい。放射線への正しい知識をさらに持ちたい。大変勉強になりました。
  - ・質疑応答に関しまして、質問者の発言を途中で止めていることがあり、もう少し時間に余裕を持たせた方がよいのではないかと思います。また東日本大震災以降、トリチウムの研究が進んでいると聞いたことがありますが、今後青森県民に対して、何か研究成果が還元されることはあるのでしょうか。普段、なかなか活動に関しまして目にする機会がないため、どういう活動をしているのか、不明な箇所が多いので、今後より分かりやすく県民に知られるようお願いいたします。
- 
- ・第一部で、主婦の質問を途中で止めましたが、止め方が失礼だったのでは？成果報告会ときいてきたが、フタをあけてみれば研究所の所員ではなく、外部の人たちの発表ばかりでがっかりした。再処理施設が青森県民に与える影響について県民に伝える気がないのかと思ってしまった。
  - ・金田先生の基調講演は大変興味深く、楽しく聴かせていただきました。ぜひたくさんの人達に聴いてほしいと思いました。毎回参加させて頂きありがとうございます。今後もよろしくお願い致します。
  - ・資料のとじ方に注意してほしい。見にくい
  - ・参加している人たちのレベルが上がっており、質問も答弁も非常に良かった。この方向で学んでいきたい。
  - ・日本が開発した火力発電所（CO2排出量の少ない）について。核融合に小型発電所について。原発が再稼働したことについて（九州の電気代は高くないと聞く）
  - ・わかりづらかった。環境科学技術研究所の研究員の研究内容を聞きたかったです。どうして研究員の発表がなかったのですか。県民におしえたくなかったんですか。
- 
- ・トリチウムの研究は、東日本大震災で廃炉が決定した福島原発のために政府主導で研究しているというのを新聞などの報道で見ました。なぜ環境研でもトリチウムの研究しはじめたのでしょうか。等を申し込みハガキに書いて来場しましたが、突然担当者が来て「個別に回答しています」と言われました。私たちは5名できているのに代表者の私のところだけに来て他の4名にも説明したのでしょうか。皆に答えてほしかったのに、コソコソ聞かれたり腹が立ちます。青森県委託事業のはずが県民のための研究をしてないのではないですか。非常に不安になります。ホームページに回答も載せてください。毎日確認しています。兼務の研究員ではなく、職員の専任研究員から成果発表してほしいです。青森県からの委託事業ですよね。ホームページをみても、どんな研究がされているのか乗ってないです。研究できているのですか。今回の成果発表では研究所の存在意義が見えませんでした。
  - ・今後も研究の移り変わり（成果）を見守り、参考にしたい。ありがとうございました。

- ・ 海の食べ物を人が食べている。年数が多くなるほど影響も大きくなると考えられます。今後の研究を期待しています。
  - ・ 一般人なので、学術的知識がわからなくても、生活の中でどのようなものなのか少しずつ知ってもらいたいと思う。これからの社会では核の問題は切ってもきれないものなので、皆にわかっていって欲しい。
  - ・ トリチウムとは10年位経て海底に沈む。消えないのであれば、安心して魚介類の食生活は不安に思った。自然に戻るのに50年~100年、世紀的なものではないかと思えば、これからの人達のことを案じます。質問を形式的に、要は内容の説明に参加者に自分の意見を交えますが、時間的ロスを抑えてほしい。①何について、何ページの何について②そう思った理由は、③提案について等です。
  - ・ 「安全性」についてはかなり理解できましたが「安信性」についてはALPSが震災後折角築いてきた努力を、また不安にさせることであること（風評被害）を忘れないで頂きたい。
  - ・ エネルギーの将来性（地球環境を含めて）について進展している部分が出た時、あらためて聞きたい。
- 
- ・ 第一部の基調講演はわかりやすかった説明で良く理解できました。
  - ・ 県のPRと違って、研究機関のデータは信頼できると思う。
  - ・ 環境研の研究を拝見するのを楽しみにしていました。今回は所外の先生のお話しということで非常に残念です。八戸以外の開催でも今年は研究員の方はお話しされていようですが環境研研究は進んでいないのか不安になりました。以前のように研究をされる方々御本人からお話を聞きたいです。
  - ・ 金田氏の説明資料が小さく見づらかった。そして添付資料もなかったのがわかりづらかった。リモート講演は迫力がない。海産物へのトリチウムの影響について15年前から調査実験していることが分かり良かったです。研究を深め、少しでも福島への説明が分かりやすくなることを願っています。
  - ・ CO2の利用や封じ込めの研究を期待大です。